

# YPJ工法 (ジョイント工法)

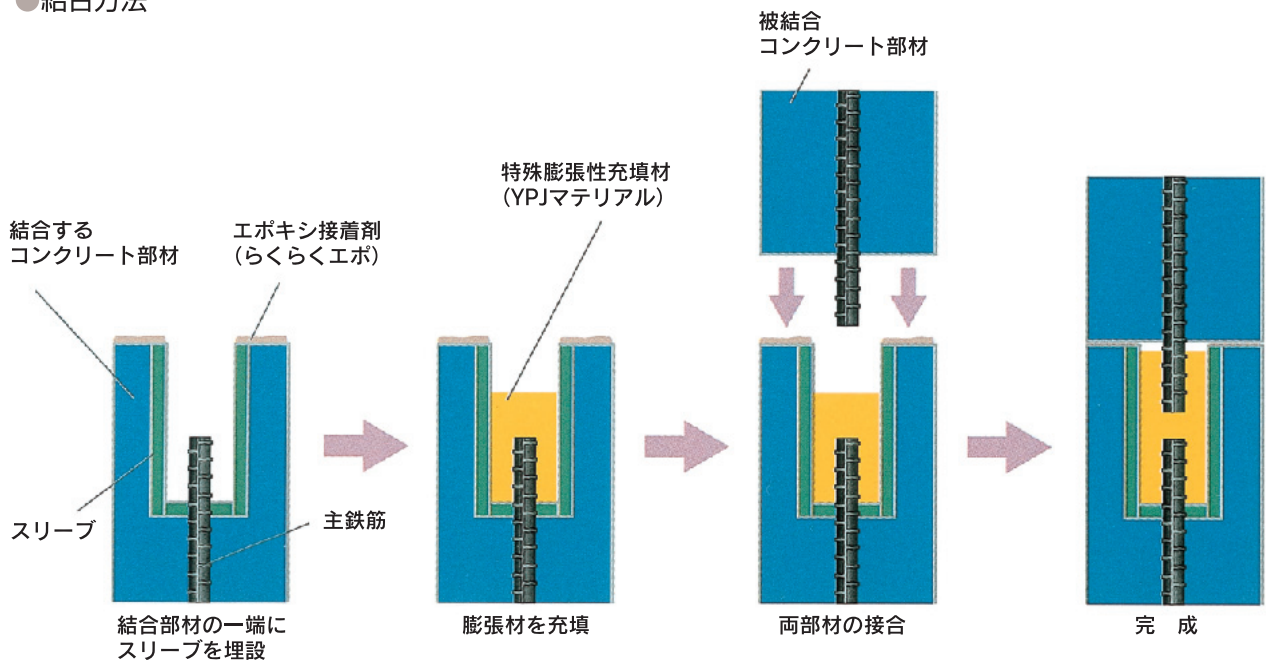
NETIS QS-020023-A

(財)土木研究センターA級継手評価PAT・P

## YPJ工法の特長

- 1.土木学会「鉄筋継手指針」規定の「A級継手」を満足した剛結合ジョイントのため、十分な性能を有し、構造物の分割・結合を自由に設計することが出来る。
- 2.形状が□型・U型・L型等多岐にわたる構造物を分割して構築することが出来、その製作部材が最少の種類(スラブとL型)で可能なために部材の製作コストが著しく低減される。
- 3.安価なジョイントスリーブに充填材を注入する簡単な作業で全結合部に剛性を持たせられるので施工が早くコストがかからない。
- 4.大型構造物を分割するために、運送不可能なものを可能にし、プレキャスト設計の幅を広げることが出来る。現場打ち構築物と比較して経済性がUP、工期を短縮しトータルコストで有利となる。

### ● 結合方法

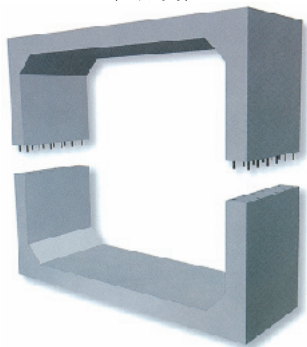


YPJマテリアル注入状況

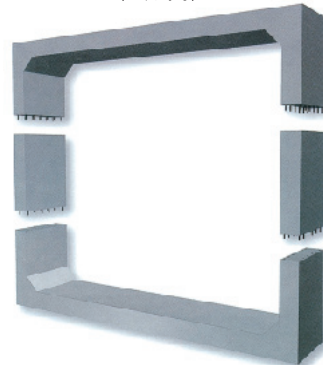
●YPJ工法 大型分割式BOXカルバート

継手の位置、サイズ等については製品種類やサイズで異なり、それぞれの照査を行った上で決定します。

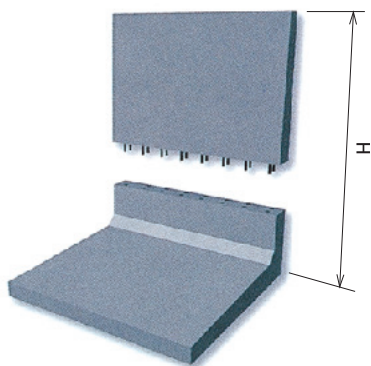
(2分割)



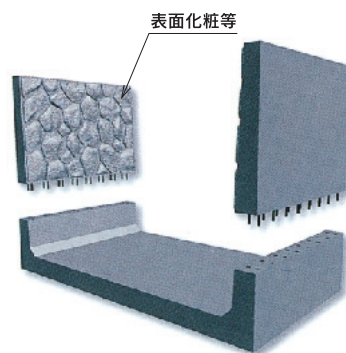
(4分割)



●擁壁の設計例(L型擁壁イメージ図)

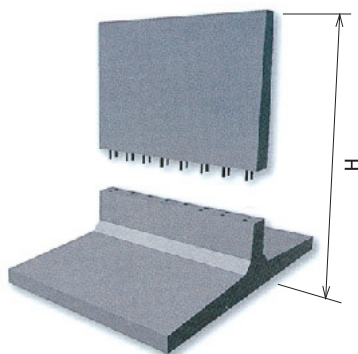


●三面水路の設計例(イメージ図)



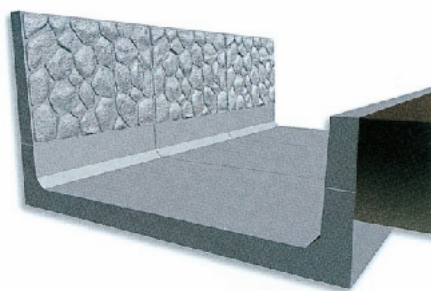
※水路幅、高さ、製品長は自由に設計出来ます。  
※表面化粧デザインは自由に加工可能です。御相談下さい。

(逆T擁壁イメージ図)



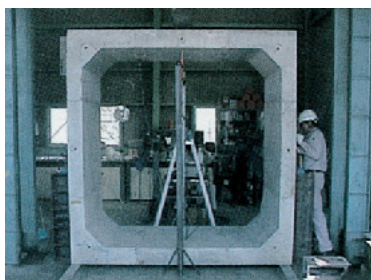
※H方向は最大8mまで

(三面水路応用図)



●製品性能検証試験

●供試体:BOXカルバート2000×2000×2000



●供試体:L型擁壁 H=3250

